

2025 年 5 月 14 日

帯電防止剤向けハロゲンフリーイオン液体の開発に成功

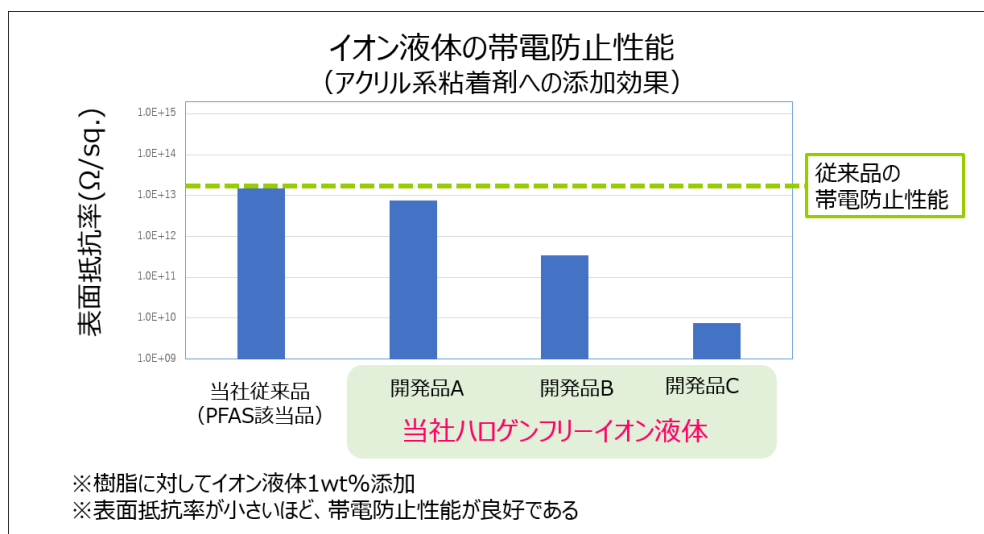
当社は、このたびフッ素、塩素、臭素などのハロゲン元素を含まない環境配慮型の帯電防止剤向けハロゲンフリーイオン液体の開発に成功しました。

従来、樹脂フィルム向け帯電防止剤に使用するイオン液体は、電離度が高く性能を発現しやすいことから PFAS（有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称）を含有している製品が一般的でした。一方で、欧州を発端に PFAS の人体および環境への有害性が指摘され、世界各国にて規制強化が進んでいます。そのため、従来と同等の帯電防止性能を持ち、環境負荷が少ない PFAS 非該当イオン液体が市場で求められています。当社では、PFAS 非該当イオン液体を開発済みで、顧客への紹介を始めているところです。

さらに、最近では PFAS だけでなく、塩素を含むダイオキシン類の環境負荷の問題やハロゲンの腐食性の観点から、ハロゲンフリーイオン液体の需要が高まっています。

こうした顧客からの要望に応えるべく検討を進めた結果、当社は、複数の帯電防止剤向けハロゲンフリーイオン液体の開発に成功しました。独自のイオン液体設計ノウハウや量産技術を基に製品開発を進め、当社独自開発の帯電防止剤向けハロゲンフリーイオン液体は、当社従来品（PFAS 該当品）に比べ、有機ハロゲン化合物を含有していないにもかかわらず従来の性能レベルからさらに優れた帯電防止性能を発現しました。

現在、工業化に向けて検討中であり、2025 年度後半を目途にサンプル提供できるよう開発に取り組んでいます。今後も環境負荷に配慮した製品開発に取り組み、持続可能な社会の実現に向け貢献してまいります。



以上